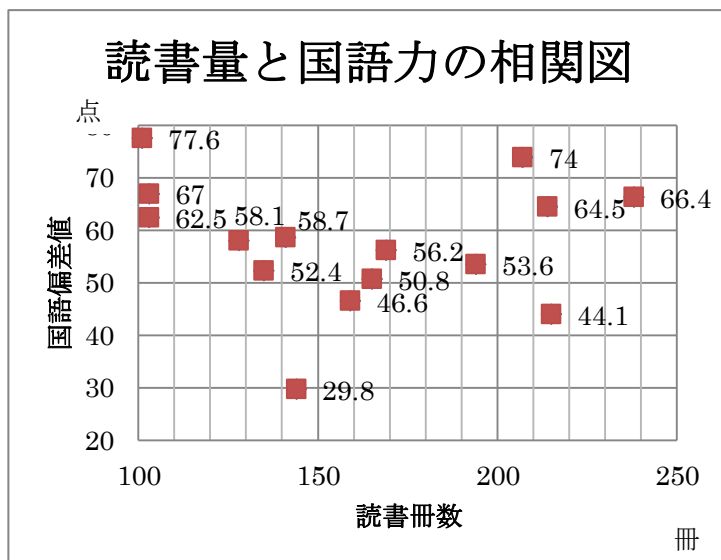
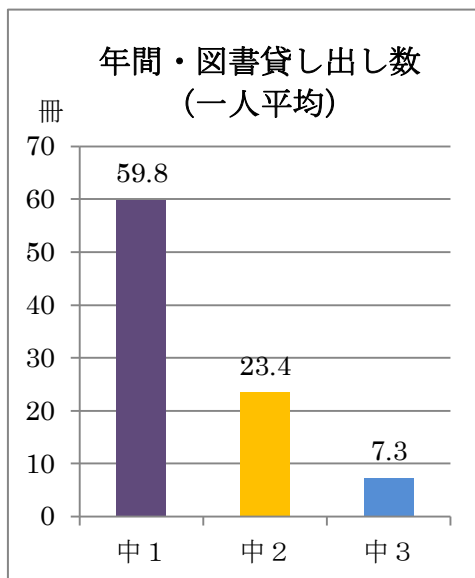


読書の英和



読書マラソン・朝読書を実施！

静岡英和女学院では、「読書マラソン」という名前で、生徒に読書の勧め、図書室の利用を促しています。そして毎月の多読者を発表しています。昨年度の貸し出し図書数の一番多かった生徒は238冊で、100冊以上読んだ中学生は15名いました。

学年ごとの貸し出し数は、中1が3,471冊、中学2年生が1,778冊、中3が498冊でした。これを1人当たりの貸し出し数に換算すると、中1が59.8冊、中2が23.4冊、中3が7.3冊となります。学年を追うごとに読書数が減る傾向がありますが、学習や部活動の比重が増えることと関係があるのかもしれませんが、読書量の多さは、学校あげて取り組んでいる「朝読書」、国語科が年間100冊読破を目標に指導している「読書カード」や「週末読書」の取り組みも良い相乗効果となっています。中1の利用者が多いのは、教室配置が図書室と同じフロアでアクセス面が至便であることも一因と考えられます。

読書と国語力の相関性

15名の中学生多読者と学力推移調査における国語の偏差値との相関性は上の表のとおりです。15人中9名の生徒が偏差値が上がり6人が下がっています。しかし、この表でわかるように偏差値70以上の生徒は2名おり、60以上の生徒は4名おり、年間多読者が国語力を伸ばしていることが観察できます。もちろん学力との相関は、量だけに左右されるものではなく本のジャンヌ、内容、読み方によっても変わってくることは言うまでもありません。

蔵書57,000冊以上の図書室

本校の図書室は蔵書数57,000冊以上を誇り、中高としては県下トップクラス図書室です。新刊図書もリクエストに応じ迅速に購入され、長期休みには貸し出し数も無制限となり理想の読書環境を提供しています。